



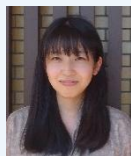
暑さに負けず、キャリア特別号 発行！

将来どんな看護師、臨床検査技師になりたいのか、
どこで働きたいのか、考えるきっかけに

臨地実習終了 ～臨床検査学科の巻。～ 実習を終えた3年生からコメントをいただきました！

臨地実習を通して、検査は患者さんの協力により成り立つものだと思いましたが、実際の現場をみて検体ひとつひとつに患者さんの命や将来がかかっており、検査結果が診断や治療に直結する責任の重さを痛感しました。今実習では技術や知識のみならず、医療従事者としての心構えと責任感も学びました。これらの経験を糧にし、より信頼される臨床検査技師を目指し努力していきます。

臨床検査学科3年 安齋真由さん



私は臨地実習で臨床検査技師という仕事がとても高度なものだと改めて感じました。技師の方々の知識と効率を常に意識した考えなど全てが高水準で、自分がこの仕事に就けるのかとても不安になりました。しかしそれ以上に臨地実習は学びになりました。実際の病院では、学校とは違い、検査を速く効率的に行う必要があるため、原理や根本の理解が必須で検査をものにする力が必要だと感じました。また解剖見学させていただいたこともあり、医療の場に就けたときに扱うものの重さを感じました。臨地実習という貴重な経験をさせていただいたことを無駄にせず、これからの国家試験や就職に活かしていけるよう頑張ります。

臨床検査学科3年 笹井勇歩さん



看護学科 実習終了のコメントもお楽しみに！

将来へのイメージを膨らませる機会に💡

先日、学科ごとに就職説明会を行いました。各医療機関の方々にお越しいただき、ブースに分かれて概要や特徴などを伺いました。学生たちは複数の説明を聞き、“将来ここで働きたい！”と決意を新たにしたり、具体的に働くイメージを膨らませたりする機会となりました。また、本校を卒業し現場で活躍している卒業生から実体験を踏まえてエールを送っていただきました！



ご協力いただいた関係機関の皆様、ありがとうございました。

臨床検査学科3年生が1年生とともに病院見学へ ～学年を越えた関わりも大切にしています！～

7月25日(金)に、1年生を実習病院に案内し、各検査室を見学しました。説明内容を理解しやすく伝える難しさを感じると同時に、自分自身の理解が曖昧な部分に気づく良い機会となりました。病理検査室では、授業で見てきた組織像が実際に技師の手によって作製されている様子を見て、仕事の重要性を改めて実感しました。

1年生からも、現場の雰囲気や技師の姿に刺激を受けたという声がありました。私自身も、後輩に説明するという経験を通して、改めて臨床検査技師として働く姿を具体的にイメージすることができました。今後の学びにこの経験を活かしていきたいです。

臨床検査学科3年 高瀬愛梨さん



「学生サポート部」今年度よりポイント制度運用開始！！
サポート部の企画にたくさん参加して「おいしいランチ」を食べよう！！

学生サポート部の「キャリア企画」で自身の軸を見つけよう！

7月11日(金)に「あなたに合った就職先の探し方(キャリアアンカー)」をテーマにプチ講座を行いました。まずは、キャリアアンカー診断に挑戦！質問に答えるだけで、キャリアにおける価値観がわかります。8つのタイプに分かれますが、参加した学生からは「自分らしい結果だった」「意外な部分もあった」など様々な声が聞かれました。キャリア企画を機に早い時期から自分自身の軸を見つけていきましょう！



基礎学力アップランチョンセミナー開催

6・7月に国家試験対策に向けた基礎学力アップの企画としてランチョンセミナーを開催しました。両学科の1年生にアンケートを取った結果、「教えてほしい！」との声が多かった分野をピックアップし、初回の3回は生物学・生化学についての内容を行いました。この機会を機に、学科問わず「わからない時はこの先生に聞けるんだ！」という先生を見つけて、たくさん頼ってくださいね。